

情報政策推進費(事業コード:2110)



総事業費： — 千円 / 期間：2022-2026
事業費：215,137 千円 / ①+②割合：63%
(事業費内訳／①一般財源：136,200千円，②起債：0千円)

- ☐ 法定受託事務
- ☐ 自治事務（義務）
- ☒ 自治事務（任意）

DX・行革推進室
内線 550

【目的／期待する効果】

昨今の社会のデジタル化の進展に伴い、行政にもICT利活用の向上が求められています。令和3年度に策定した第四次鹿嶋市情報化計画に基づき、スマートシティをつくることを目標にICTを活用した行政デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進していきます。

計画の目指す姿

誰もが、どこでも、簡単に行政サービスを受けられます
今後の厳しい財政、縮小する職員数に対応できます
有効な行政データが提供され、どこでもデータを利用できます

【事業内容】

DXの推進

- ・DXツールの活用（RPA・AI-OCR，電子申請フォーム，業務用チャット，対話型AI，音源文字起こし，ノーコードツール等）

業務システムの標準化

- ・地方公共団体情報システム（住民記録システムなど基幹業務系20システム）の標準化及びガバメントクラウドの運用開始

ICT基盤の運用管理

- ・OA機器，ネットワーク，各種業務システムの効果的な運用管理

